

## 英北授業スタンダード

### (1) 教室環境を確認する。

- ①机の並び方は整っているか。 ②落ちているものはないか。
- ③収納状況はどうか。 ④掲示物などは外れていないか。

### (2) 教科書、ノートなど、必要なもののみ机の上に置いているか確認する。

### (3) 授業のめあてを提示、本時のポイントを明確に示す。

### (4) 全員が静かにするルールづくりと、静かになったことを確認してから話し始める習慣をつける。

### (5) 板書を工夫する。

- ①書く量、書く位置は適切か。
- ②区切り線を付ける。
- ③色の配慮。白チョーク→黒鉛筆、黄チョーク→赤鉛筆、赤チョーク→線引き用等。

### (6) 今は、「聞くとき」「書くとき」「話すとき」を区別し、同時に提示しない。

例) 板書しながら話さない。聞くときはえんぴつを持たせない。

### (7) 大切な指示や内容ポイント等の大事なところは、何度か繰り返す。

### (8) できるだけ視覚的に示すことができる教材、教具を活用する。

### (9) 子どもの努力や取り組みの状況をほめる場面を多くつくる。

### (10) 本時の授業をまとめ、ふりかえりを必ず行う。

○指導や指示したことができていないかどうかを、常に確認する。

(指導したり指示したりしたことができていないと、指導したり指示しても、しなくてもいいということを指導していることになる。)

○黒板掲示の簡素化。

(忘れ物や提出物記録などは、できるだけ別黒板を使い、黒板を広く授業で使用する。)

○靴箱にくつを正しく入れる。